

令和3年市長と語る新成人のつどい

1月10日の「成人の日」には約1,200人の若者が新しく大人の仲間入りをします。成人の日に先立ち、昨年11月2日に「市長と語る新成人のつどい」を開催しました。本道教育部長の進行のもと、新成人たちが市政について質問や提言などを、身近な話を交えながら、千代松市長、奥教育長と熱心に語り合いました。その一部を紹介します。

※みなさんがもし市長だったらどんなことがしたいですか？



(寺田さん) コロナ禍で苦しい家庭への経済的支援・教育のサポートを実施したい。近年、ヤングケアラーの問題があり、困っている子供の支援を実施したい。



(戸江さん) 私の家が海岸部に近く、浜に多くのゴミが落ちているので綺麗にしたい。コロナ禍後に若者が参加できる地域のイベントを多く実施したい。



(道正さん) 母が障がい者施設「いちょうの森」と提携し「泉佐野の恋人」という菓子を製作していたが、障がい者の賃金が非常に低い。自分は農業もしており福祉と農業を融合させた事業をしたい。



(廣澤さん) 人とのコミュニケーションは大切である。人と人をつなげるためのイベントを行いたい。楽しく、活気のあることをアピールできる町を作りたい。



(竹谷さん) 本市は、海、山、川などがあり自然環境が豊かである。そのような場所であるため、災害時、高齢者や障がい者の所在場所を把握しスムーズに避難できる状況にしたい。



(江川さん) 現在、こども食堂は食事の提供だけでなく、一緒に勉強や遊ぶ場所の提供も行っている。本市にもこども食堂があると聞いているが、本市での活動においても、子ども食堂の役割を変えてみたい。

※泉佐野市のことで分からないこととか疑問に思っていることがありましたらお尋ね頂きたいなと思います。

(戸江さん) 今本市を活性化させるために一番力を入れていることは何か。



(市長) ふるさと納税は、本市の活性化に大きく寄与してくれています。ふるさと納税を活用して「ENJOY！りんくう りんくう花火」「泉佐野郷土芸能の集い」などに助成しています。また地域の課題・要望にも迅速に対応できるようになりました。

(道正さん) 高校時代に「まちづくり政策コンテスト」で「落花生のソフトクリーム」を提案させてもらった。将来的に若者が泉佐野で事業を行う時、一定まで支援はあるのか。

(市長) 「#ふるさと納税3.0」のクラウドファンディングによって、令和2年度に実施した9件のうち7件が目標額に達し、残り2件も事業化しました。令和3年度（11月時点）は9件がチャレンジ中です。また泉佐野駅近くでは、「SHARE BASE つむぎや」があり、企業をめざすチャレンジショップが実施されています。

(廣澤さん) 現在地元を離れている。帰るたびにあまり変化に意識をしていなかった。今後はそれに意識して気を付けてみたい。

(市長) 私が学生のときに関空が開港しました。泉佐野に帰ってくると、様々な工事が進み、新しい道路ができたりして、空港ができる実感が湧きました。現在は、泉佐野駅から「さの町場」にかけての空き店舗対策などに取り組んでいます。今後、注目してもらえたらと思います。

(竹谷さん) 小学生の頃、市の財政が厳しい状況と聞いたが、今はどのような状況か。ふるさと納税により、現状はどう変わっているのか。

(市長) みなさんが小学生の時は、本市が財政難で、全国ワースト 2 位と言われていました。厳しい状況は続いていましたが、教育環境の充実を図り、みなさんが中学生の時には、中学校給食、教室エアコン設置などをおこないました。現在は、財政健全化団体からも脱却し、プールの整備や体育館エアコン設置などを進めています。

(江川さん) 何かの番組で本市が全国で一番一人当たりの美容室・理髪店数が多いと聞いたことがあるが。

(市長) 調べてみると、理容業が 69 事業所、美容業が 121 事業所、合計 190 事業所で市民 1 人当たりの事業所数では大阪府下で 15 位でした。日本一なら新たなセールスポイントにもなったんですが残念です。

(寺田さん) りんくうタウンにはアイススケートリンクやプレミアムアウトレットモール等があるが、まだ多くの空き地がある。どのように活用していくのか。

(市長) りんくうタウンの土地は全て売約されています。かつて、りんくうタウン駅隣の駐輪場にホテルを誘致し、建設されました。未利用地が積極的に開発されればと願います。

市長になにか一つだけ願いごとを実行してもらおうとしたらどんなことでしょうか？

（道正さん） 農家が減ると泉佐野の特産品や日根荘の景観など本来の魅力が減少してしまう。現在の農地法が厳しく、若者などが新たに参入しにくい状況を解決してほしい。

（市長） 本市では、農業を通じ、若者の就労支援に取り組んできました。本市で農業研修を受けてもらい、青森県弘前市や石川県加賀市に派遣して、実際の農業体験をしてもらうという就労支援でした。この事業は、今年度から就職氷河期世代を対象に実施しています。これからも色々な展開を考え、若者が就業できるような取り組みを考えたいと思います。

（廣澤さん） 少子高齢化や孤独などの問題を解決できるような社会がつながるお祭り、フェス、フリーマーケットなどをやってほしい。

（市長） 平成30年度に、市制施行70周年を記念して多くのイベントを実施しました。現在は、コロナ禍でイベント開催を控えるような状況が続いていますが、少しずつ復活させたいと思っています。私が20代の頃、りんくうタウンの空き地で大きなフリーマーケットが開催されていました。フリーマーケットをイベントに取り入れるように考えてみたいと思います。

（竹谷さん） 動物全般の殺処分をやめて頂きたい。難しいと思うが、殺す方向でなく保護猫カフェ・保護犬カフェなどを作り処分減らす方向はないのか。

（市長） 本市としては鳥獣被害をもたらす動物の殺処分をおこなっています。犬や猫は保健所（大阪府）の管轄となります。気持ちはわかりますが、人間が生活を営む中で、一定受け入れざるをえないところがあります。また、猫屋敷という言葉

葉に代表されるように、動物を飼うことによって、周囲に迷惑がかかり、苦情が行政に寄せられれば、対策する必要が生じる場合もあります。

(江川さん) 子どもの頃から映像や本などエンターテインメントが好きである。できれば市内に映画館があればよいと思う。

(市長) 昔は、映画館も泉佐野駅周辺にいくつもありました。映画という切り口から、まちを活性化させる方法があります。例えば、撮影で使われたスポットは、公開後に多くのファンが訪れたりしています。映画から地域を活性化させていく取り組みは面白いかも。

(寺田さん) だんじり祭りが好きで見に行くが、青年団への加入が減り引手が少なくなっていると聞く。泉佐野の伝統的な祭りを守ってほしい。

(市長) 現在は、だんじりの購入や修理に対しての補助制度があります。ふるさと納税を活用して「ザ・まつり in IZUMISANO」への助成も復活しました。地域の伝統文化である祭りは、とても大切だと思います。

(戸江さん) 自分が車持つようになって駐車料金が気になる一方で、地元の交通手段についても考えるようになった。お年寄りが行きやすい交通手段について増やしてほしい。

(市長) 交通手段としては、コミュニティバスがあります。一方向の運行で、便数も十分ではないかもしれませんが、無料で利用できます。また、令和元年から田尻町と連携して新しいルートを設けました。コミュニティバスの広域化は、観光施策にも重要になってくると思います。



(教育長の言葉)

「市長と語る新成人のつどい」にご参加いただき、ありがとうございました。市政に対するご意見や、人のために、社会のために役立ちたいという志をお聞きして、大変頼もしく感じました。また、市長の「泉佐野市への愛」も十二分にわかっていただいたかと思います。

みなさんには、これからも、世界に羽ばたき、世界中の人びとも共存していける態度や行動を大切にしていいただきたいし、ご意見の中にもありましたが、自分を誇れることはとても大事なことで、自己実現のために自信をもって進んでいかれることを願っています。



(市長の言葉)

本日は、とても有意義であり、私にとりましても印象深く、良い思い出となる「新成人と語るつどい」でした。1月の成人式では、本日と違った雰囲気の良い姿を見させていただくことを期待しています。新型コロナウイルス感染症で大変な状況が続いていますが、「明けない夜はない」と、しっかりと乗り越えてまいりましょう。また、みなさんには、希望と目標を持ちながら確かな歩みを進めていただきたいと願います。本日は本当にありがとうございました。